



平成 21 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 ハイビック株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 川 口 充
 (J A S D A Q : コード 7845)
 問 合 せ 先 常務取締役管理部長 木 村 敏 行
 電 話 番 号 0285-25-4785
 (URL <http://www.hivic.co.jp>)

特別損失の発生及び業績予想（連結・個別）の修正 並びに株主優待制度の廃止に関するお知らせ

このたび、下記のとおり特別損失が発生する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 10 月 1 日に発表いたしました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の通期業績予想（連結・個別）を修正いたします。また、平成 21 年 5 月 11 日開催の取締役会において、株主優待制度の廃止につきまして、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

平成 21 年 3 月期におきまして、ツーバイフォー住宅用プレカット製品の製造を行っていた山形、名古屋、大阪の 3 ヶ所の工場廃止や、在来木造住宅用プレカット製品の製造を行っていた四街道工場の廃止と主要設備の八千代工場内への移設等、生産拠点の集約と生産コストの削減、また、不採算グループ会社の解散や保有資産の見直し等、次期以降の利益体質の強化と事業の再構築を行ってまいりました。

以上の結果、事業撤退、再構築等にかかる損失 74 百万円、たな卸資産評価損 82 百万円、投資有価証券評価損 3 億 10 百万円、並びに平成 19 年 9 月に子会社化した日東木材産業(株)（現ハイビック浜松(株)）に関し、当初の予想より収益体質の強化が遅れることが見込まれることによる、のれんの減損損失の計上 1 億 64 百万円等、あわせて 7 億 39 百万円の特別損失を通期の連結業績において計上する予定であります。

また、個別業績につきましては、投資有価証券評価損 3 億 8 百万円のほか、不採算グループ会社にかかる関係会社株式評価損 4 億 87 百万円、同グループ会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額 4 億 50 百万円等、あわせて 13 億 14 百万円の特別損失を通期の業績において計上する予定であります。

2. 平成 21 年 3 月期業績予想の修正

(1) 連結業績予想（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	27,594	831	890	84
今 回 予 想 (B)	25,964	624	724	379
増 減 額 (B - A)	1,629	206	166	464
増 減 率	5.9%	24.9%	18.7%	
ご 参 考 : 前 期 実 績 (平 成 20 年 3 月 期)	29,778	1,009	1,178	362

(2) 個別業績予想(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	21,011	960	951	295
今回予想(B)	19,974	1,000	1,003	55
増減額(B-A)	1,036	40	51	350
増減率	4.9%	4.2%	5.4%	
ご参考:前期実績 (平成20年3月期)	22,033	1,429	1,476	113

3. 業績予想の修正理由

平成21年3月期の当社グループを取り巻く経営環境は、在来木造住宅着工戸数が2期連続減少、また、建設業者の経営破綻が急激に増加する等、非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループといたしましては、会員制直需木材市場を中心に営業方法を見直すとともに、「1.特別損失の発生及びその内容」に記載のとおり、生産拠点の集約や不採算グループ会社の解散等、中長期的な視点での利益体質強化のための事業の再構築及び保有資産の見直し等を図り、これらの施策に伴う特別損失の発生により、連結・個別ともに業績予想を修正いたします。

なお、配当予想につきましては、「平成20年3月期決算短信」(平成20年5月16日付)において公表した金額に変更ございません。

4. 株主優待制度の廃止

(1) 廃止の理由

当社は株主優待制度として、毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された3単元(300株)以上保有の株主の皆様を対象に、株主優待(JCBギフトカード2,000円分)の贈呈を実施してまいりました。

しかしながら、住宅業界に属する当社を取り巻く経営環境は、非常に厳しい状況で推移しており、本公表資料に記載のとおり、通期業績予想において、連結・個別ともに当期純損失を計上する見込みとなり、また、株主の皆様に対する公平な利益還元を再検討した結果、誠に遺憾ではございますが株主優待制度を廃止させていただきます。

今後も引き続き、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識し、継続的な配当に向け、業績向上に取り組んでまいりますので、ご理解賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(2) 廃止の時期

平成21年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された3単元(300株)以上の当社株式を保有する株主の皆様に対して実施する株主優待の贈呈(6月下旬頃郵送予定)を予定どおり実施したうえで、廃止させていただきます。

以上